

市内でいきいきと頑張る企業をご紹介！  
地元就職を考えている学生の皆さんも必見ですよ

## 安高金属工業株式会社

### より良い製品をより速く！ 追求し続けるプレスの可能性

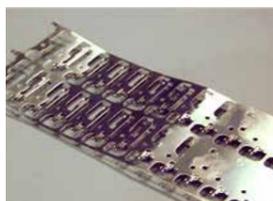
創業 50 年、金属・非鉄金属のプレス加工を担う安高金属工業。自動車関連部品や弱電(注1)関連など、プレス加工で驚くような精密な製品まで幅広く製造し、多様な業界のニーズに応えてきました。

※注 1 弱電…情報の伝達に用いる電気機器の総称

わが社のここがイチ押し！

#### 安定の品質で大量生産 段取りの徹底効率化で生産性アップ！

プレス加工は、プレス機械に金型をはめ込み、その型通りに金属を加工していく技術です。鉄、アルミ、ステンレス、銅、真鍮(しんちゅう)まで対応し、一連の生産工程で複雑な形状でも作り上げることができます。1秒も無駄にしない厳しさで、稼働時間を確保し、スピードとコストダウンを実現しています。



▲弱電関連部品

わが社のいきいき社員

#### 難しいからこそ、やりがいを感じています！

入社してもうすぐ2年、今はスポット溶接(注2)工程を担当しています。機械を動かしながら、製品一つ一つを手動で製造。当初は単純作業という印象でしたが、実際やってみるとその奥深さに驚きました。

スポット溶接は、金属に圧をかけ、電流を流して溶接する作業を機械で行います。スムーズに製造する要になるのが作業員共有の説明書です。試作から全工程を検証し、条件出し(注3)と治具(注4)製作を行って作成するため、長年のノウハウと知識が必要です。とても難易度が高いので、自分は先輩の指導の下勉強を続けています。早く1人で作成できるようになることが今の目標ですね。

※注 2 スポット溶接…溶接の一種。点で接合される  
※注 3 条件出し…圧力や電流の強さ等の最適な条件  
※注 4 治具…作業位置を指示・誘導するための器具



製造部  
池田元気さん(25)



▲九州でも数少ない 400 トンの大型プレス機械

#### 【企業概要】

##### ■所在地

荒尾市高浜 310-8

##### ■業種 製造業

■主な仕事内容 プレス加工および金型設計、製作、付帯する業務

■資本金 4,300 万円 ■従業員数 40 人

##### ■ホームページ

<http://www.yasutaka.co.jp>

■連絡先 ☎ 68-6111

■FAX 68-5925



#### Pick Up!

### 50 周年記念、沖縄旅行！

定期的に、みんなで盛大に社員旅行。リフレッシュして、仕事もさらに頑張れます。



#### 社長からのメッセージ

##### いつも新しいことを考え、創造すること

当社は、スクラップ工場から始まり、時代の転換期を見極めながら多様な業界に対応。おかげさまで創業 50 年を迎えることができました。同じ所にとどまるのではなく、常に新しく創造を続けることが大事だと思っています。社員には、どんな機械でも使えるようにし、当社の技術や考え方をすべて教えます。初心を忘れず、向上心をもって、共に頑張っていきたいですね。



代表取締役社長  
古賀慎吾さん

## 荒尾市民病院 Informations

市民を愛する 市民に愛される 病院へ  
Arao Municipal Hospital

前回に引き続き、濱口先生にお話を伺いました

### 「緩和ケア」 Part.2



外科診療部長・  
緩和ケア内科部長  
濱口裕光先生

がん相談支援センター  
☎ 63-1115

苦痛をやわらげるプロ集団

#### 緩和ケアの専門チームって？

がん診療連携拠点病院(注1)の指定を受けている当院では、緩和ケア専門医、緩和ケア認定看護師、緩和ケア認定薬剤師、医療ソーシャルワーカー、栄養士、理学療法士など多職種でのチーム医療を提供しています。専門的な緩和ケアに対応できる当院の「緩和ケアチーム」は、九州で最初の一般病院での「緩和ケアチーム」として活動を行ってきました。

がん治療と同時にスタート

#### 緩和ケアを受けるには？

緩和ケアを受診したい、在宅での緩和ケアの相談をしたいときには、当院の「がん相談支援センター」にご相談ください。緩和ケアは、がんの治療中、入院・外来・在宅療養などを問わず、受けることができます。さまざまな職種のメンバーが関与する「緩和ケアチーム」は、がん治療と平行して、患者さんの身体と心のつらさ、ご家族の社会生活もサポートします。

がんの治療が一段落しても、残った苦痛・つらさ

注 1. 当院は、平成 20 年に県北で唯一の国指定「地域がん診療連携拠点病院」に認定されています。専門性のあるがん医療の提供、緩和ケアの実施、診療支援、在宅医療との連携推進、「がん相談支援センター」の設置など、指定条件を満たすための活動を行っています。

を、緩和ケア外来の定期的な受診で軽減できます。医療スタッフが、地域の診療所や訪問看護ステーションと連携して、自宅での緩和ケアを支援することも可能です。当院では、平成 21 年に玉名郡市、大牟田市も含めた「有明緩和ケアネットワーク」を立ち上げました。自宅での療養生活を地域全体で支える緩和ケアの提供ができる地域として、熊本県でも唯一の医療圏です。



「つらいな」と思ったら、

#### 「緩和ケア」、この言葉を思い出してください

がんになったとき、痛みや気持ちの落ち込みは、あなたの生きるエネルギーを奪います。強い倦怠感、無気力を招きます。吐き気は、不愉快な気分させます。希望が見えないことは、あなたを絶望の淵に追いやります。からだや心の苦痛を和らげる治療やケアがあることを思い出してください。

「緩和ケア」は、がん治療を充実させる大切なケア。苦痛が緩和されれば、穏やかな時間を取り戻せます。遠慮せずに、勇気を出して、言ってみましょう。「緩和ケアを受けたいです」と。

#### Pickup

がん治療中の外見変化のケア対策を学びませんか

●日時 3月16日(土)

午後2時～3時

●場所 地域医療研修センター

●対象者 がん患者とご家族(他施設で治療中の人も可)

※参加費無料。申し込みも不要。

☎ 外来化学療法室 森田

☎ 63-1115

講座は事前申込不要、参加費無料、場所は地域医療研修センター(市民病院・外来病棟4階)です。お気軽にご参加ください。

「緩和ケア」は、がん治療を充実させる大切なケア。苦痛が緩和されれば、穏やかな時間を取り戻せます。遠慮せずに、勇気を出して、言ってみましょう。「緩和ケアを受けたいです」と。



心臓病教室と市民公開講座に参加しませんか

【心臓病教室】

●日時 3月14日(木)

午後3時～4時

●テーマ

「心不全と心臓リハビリテーション」

●講師

作業療法士 大津仁志

理学療法士 草野雄司

☎ 63-1115

●その他